

講義名	業界研究（製造業）/企業論特別講義（製造業）			授業形態	
担当教員	長坂 泰之	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

講義は製造業に関して理解を深めてもらい、もの価値を創造したり、ものの価値を高める手法の実際を知ることを主題とする。そこで、本講義では以下の5つの観点から企業の方々に話を伺う。
 (1) ものを創造して価値を生み出す方法について、(2) 高度なものをつくる場合の進め方について
 (3) メカとソフトウェアの組み合わせを持つものづくり方について、
 (4) ものを造るのではなく、要求に合うものを探していく場合の進め方について、(5) ものつくりとブランド構築について
 なお、製造業に興味のある学生の受講を希望する。

到達目標

製造業の実際と状況についての理解を深めることを目標とする。具体的には本講義を受講することにより製造業が持つ組織や働きについて理解を深め、製造業に関して正しいイメージを持ち、製造業の活動について説明できるようになることを目標とする。加えて、ものの価値とユーザの関係を理解することを目標とする。

提出課題

講義内容に関するレポートの提出を要求することがある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

まとめの回に課題に関する解説とフィードバックを行う。また必要に応じて講義内で説明を行う。

評価の基準

授業への参加度と講義内容に関する課題及び試験（レポート方式）によって評価を行う。授業への参加度には授業へ参加度（出席・発表）を考慮する。ただし発表と質問については大学の学びには自主性が求められることに鑑み、自主学習が推察される質問や意見については特に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

外部から講師を招くため、最低限のルールを守ることを求める。通則、私語、飲食は厳禁とする。またカバンや飲食物を机の上に並べること及び授業途中での退席はしないこと。最低限のルールができていない学生は、受講を認めない場合もある。また、質問を行う等の積極的な参加を期待する。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

使用しない。

授業計画

以下の講義を予定している。ただし、外部講師の都合により、講師及びスケジュールは変更される可能性がある。
 第1回 イントロダクション / 講義 長坂 泰之
 第2回 外部講師
 第3回 外部講師
 第4回 外部講師
 第5回 外部講師
 第6回 外部講師
 第7回 途中まとめ講義 長坂 泰之
 第8回 外部講師
 第9回 外部講師
 第10回 外部講師
 第11回 途中まとめ講義 長坂 泰之
 第12回 外部講師
 第13回 外部講師
 第14回 途中まとめ講義 長坂 泰之
 第15回 最終まとめ講義 長坂 泰之

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業科目は2単位だが、2単位に必要な学修総時間は90時間と定められている。内訳は授業で30時間、予習・復習で60時間である（いずれも15回の授業あたり）。授業時間外で60時間の学修が達成できるように主体的・積極的に取り組むこと。予習・復習の内容は各クラスの講義内容によって異なるので担当教員の指示に従うこと。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

業界研究（製造業）はディプロマポリシーにある、学生の志望に応じて特定の専門分野を深く学ぶための能力を身に付けることに寄与する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

なし。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり、中小企業診断士として、製造業、流通業、小売業の診断経験あり。

備考

なし。